

欧州会議調査団の続報です

ウッソー！ 日本に死刑があるの？

死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会（そばの会）
東京都荒川区南千住 1-59-6-302

日本の死刑制度を調査するために欧州会議（「欧州評議会」と訳されることもあります。カ国が参加）の人権委員長のヤンソンさんが来日し、高村法務大臣や、東京拘置所所長、えん罪が明かになった元死刑囚の方、死刑囚の家族、被害者遺族らとの面談が行われました。

先月のビラで「予言」？したとおり、法務省は世論調査で死刑を存置する声が多いことを理由に死刑は廃止できない、と説明し、ヤンソンさんは、「世論の問題にするのはトリックだ。世論の%が存置を主張している国でもモラトリアム（執行の猶予）が検討されている」と反論したそうです。

また、死刑囚への直接の聞き取りも認められませんでした。ヤンソンさんが「家族の方からぜひ会ってほしいと言われてきました。死刑囚本人も希望しているのですが」と申し出ても、東京拘置所所長は「死刑囚の心情の安定を乱してはいけないので」と拒否したそうです。

★ ★ ★

市民団体が主催した歓迎会で、ヤンソンさんはこんな話をしてくれました。

「日本に何しに行くの？と聞かれて、死刑制度の調査だと答えたら、みんなに、『ウッソー！日本に死刑があるの？』と驚かれました。世界の多くの人たちが、日本のような国には死刑はない、と思っているのです」

この調査の結果は近日中にまとめられ、欧州会議に報告されます。死刑制度の有無だけではなく、死刑囚処遇のありかたについても、「ウッソー！」という声がか国語で聞こえてきそうです。

Japan has death penalty system.

At present, 28 prisoners sentenced to death are confined in Tokyo Detention House near by. They are prohibited to communicate with others outside the prison by correspondence and by receiving visits except a few family members. They have to live in anxiety every day without any information when to be executed until the day comes suddenly.

We have so many doubts about such a death penalty system in Japan, and appeal to the passers-by to think about this problem together with us.

日本には死刑制度があります。

この近くの東京拘置所には、現在28人の死刑の確定した人が収監されています。彼らは、数人の家族以外との面会、文通を禁じられた状態で、いつ執行されるのか、その日までわからない、不安な生活を送っています。

私たちは、こうした日本の死刑制度に疑問を持ち、見直すことを呼びかけています。

桜を見ながら

死刑について考えてみませんか？

「そばの会」のお花見です。

四月七日（土曜日）の正午頃から、北綾瀬駅隣の「しょうぶ沼公園」にて。（雨天中止です）
いつもの「のぼり」をたてていますので、お気軽に声をかけてください。